

平成28年度 いいたて在宅介護支援センター
指定居宅介護支援事業所事業報告書

1. 基本方針について

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、ご利用者やご家族の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、ご本人並びに家族は勿論の事、多種多様な事業者や関係機関と連携し、避難先等でも家族との繋がりが継続できるような支援を行ってきた。

(1) 信頼を得るについて

ケアプランを立案するにあたり、ご利用者とそのご家族の方との信頼関係を得るためにコミュニケーションを密にして、避難先の環境やサービス事業者とも連携を図り、迅速な対応をしてきた。

(2) 課題を正確に捉えるについて

生活環境の変化やご利用者やご家族の方の抱える心配ごとや不安な点を捉えるため、予測される課題についても、事前に検討を行ってきた。

(3) 情報提供について

ご利用者やご家族の方が必要としている、介護保険制度を含めた様々な情報を提供、利用できるサービスなど避難先の地域資源活用等についても情報提供を行ってきた。

(4) モニタリングを行うについて

常に状況を把握し、状態にあった支援が提供できるよう努め、モニタリングについても訪問以外に電話等で相談や状況把握など出来る限りの活動を行ってきた。

(5) ご利用者の立場に立つについて

常にご利用者とその家族の方の立場で対応することに努めてきた。

『評価と課題』

訪問活動の他に、サービス提供事業者や関係機関等との連絡体制を徹底し、情報の共有を図って、電話などによっても身体状況の変化、生活状況及び家族の負担状況の把握を行い、より適切な対応ができるように努めてきた。

今後、介護保険給付に対するサービスの利用量、サービスの種類等の適正化を図って行くことも必要となってくると思われる。

2. 具体的な施策について

《ケアマネジメントの充実》

(1) アセスメント（課題分析）について

ご利用者及びご家族の方の意向等を把握し、解決すべき課題や生活行為等に対する可能性を抽出し、それらに基づく目標を導き出してきた。また、得られた情報はケアマネジメントの中核とし状態像を十分に把握してきた。

(2) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）について

ご利用者及びご家族の方、サービス事業所が参加することにより、生活への要望や課題を直接会って確認することで、チーム全員が思いを共有できると共に、ご利用される側に安心感を持てるようにしてきた。

(3) モニタリング（サービス実施状況の把握及び評価）について

モニタリングは、ご利用者に対する継続的なアセスメントでもあり、ご利用者やご家族の方の要望や苦情等を、口に出せるような関係を築いて行くと共に、サービスの実施状況も確認してきた。

(4) 居宅サービス計画の見直し（再アセスメント）について

モニタリングの結果から、ケアプラン変更の必要性が生じたら、内容を確認し利用者の状態の変化及びニーズを把握し、居宅サービス計画を見直し作成してきた。

(5) 給付管理について

サービス提供事業者からサービスの実績報告を受け、内容を確認し「給付管理票」を作成し翌月10日までに国民健康保険団体連合会（県）に提出しています。

給付管理請求一覧（平成28年度）

月	件数	介護報酬額	月	件数	介護報酬額
4	76	1,124,920	10	80	1,121,400
5	76	1,086,640	11	81	1,108,260
6	75	1,038,120	12	79	1,110,000
7	81	1,146,540	1	78	1,070,480
8	84	1,184,480	2	70	956,740
9	82	1,176,480	3	70	953,160
合 計				932	13,077,220

『評価と課題』

サービス提供事業所との連絡調整を密に行い、適正なサービス利用に向けた調整を行っています。特に相馬地方の介護保険サービス提供事業者を含め、慢性的な人員不足状態が続いている状況にあります。

サービス利用量の適正化を図り、ご利用者やご家族の方の要望を受け入れながら、インフォーマルなサービスも取り入れ、各種事業所との連絡調整を行っていききたいと思います。

3. 重点事業目標について

(1) ご利用者及びご家族の方に対し避難先の福祉サービス情報提供について

- 希望するサービスを把握し避難先で対応可能なサービスについて、介護保険サービス以外のインフォーマルサービスを含め情報提供を行ってきた。

『評価と課題』

- 避難先地域毎に、サービスの種類や量等を事前に調査を行い、ご利用者やご家族の方に適していると思われるサービスについて適宜情報提供を行うことができた。情報収集の方法について、より効果的に図れる様に関係機関と連携する必要がある。

(2) 避難先での孤立防止と意欲低下防止について

- 訪問活動や電話による状況確認を行うことにより、ご利用者は勿論のこと、ご家族の方の介護への不安解消を図った。

『評価と課題』

- 定期的な訪問活動のほかにも、関係機関との連携を図り、ご利用者やご家族の方への支援活動を展開できたことは満足できるものであるが、今後は離れて暮らす家族との連携も必要と思われる。

(3) 利用者の状況に応じたケア計画の作成について

- ご利用者及びご家族の方の状況を把握することは勿論、サービス提供事業所からの情報を元に再アセスメントを行い状況に適したケア計画を作成してきた。

『評価と課題』

- 状況に応じたケア計画作成が出来たことには、ご利用者やご家族の方にも満足して頂け、評価できるものと思っている。その時々だけではなく、当初から長期的な視点でのケア計画を作成するように努めたい。

(4) 医療機関との連携について

- 福島県が推進してきた医療機関との連携強化のため、入退院時の情報共有のための相双地圏域と県北圏域双方の入退院時調整ルールに基づき、其々の医療機関とご利用者の情報について共有を図ってきた。

『評価と課題』

- 入退院時調整ルールについては、運用が始まったばかりということもあり、これからが本格的な運用が行われるものと思われる。

(5) 課題等情報の共有について

- 相談支援業務だけに関わらず、避難元の地域での生活情報や、避難先のサービス提供情報などについても、相互の持っている情報の共有を図ってきた。

『評価と課題』

- 複数の職員体制ということもあり、様々な問題に対して連絡や情報交換が取りやすい環境となっている。今後も継続し、利用者支援に関する情報はもちろんのこと、サービス提供機関や医療機関などの関することなどについても、情報の共有を図っていききたい。

(6) 要介護認定調査について

- ・ 飯舘村の要請を受け、認定の更新を希望する方の要介護認定調査を実施してきた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在宅調査	7	7	9	10	7	7	11	7	3	7	3	7	85
施設調査	2	3	7	0	8	6	0	4	2	5	4	1	42
合計	9	10	16	10	15	13	11	11	5	12	7	8	127

『評価と課題』

- ・ 調査期間等を厳守するため、事前の連絡調整を密に行い滞ることなく認定調査を行うことができた。サービス利用に関しての目的ではない見直し希望もあり、申請に至る時点での聞き取り調査なども必要ではないかと思われる。

(7) 効率的かつ効果的な活動について

- ・ サービス利用希望者が、広範囲に避難することとなり、訪問のための移動時間が多くなっていることは確かであり、そのため、相談内容の事前把握や関係機関との調整を電話などで行い、相談や支援業務を効果的に進めるような活動を行ってきた。

『評価と課題』

- ・ 訪問活動のほか、関係機関との連携を図り、ご利用者やご家族の方への支援活動を効果的かつ効率よく展開できたと思われるが、今後も早期の問題把握につとめ、より効率的効果的な活動に努めたい。

4. 介護支援専門員の資質・専門性の向上について

(1) 専門知識及び技術向上に努めてきた。

研修会に参加し、周知徹底に努めてきた。

- ・ 現任認定調査員研修（南相馬市） 3名参加
- ・ 介護保険法に基づく実地指導（福島県指導監査）の実施
県福祉監査課2名、相双保健福祉事務所1名

(2) 不満や苦情があれば、迅速かつ適切な対応が図れるように努めてきた。

- ・ 訪問時本人や家族の満足や不満等について確認し、サービス事業所への報告や改善を促しながら、質の向上に取り組んできた。

(3) 秘密保持厳守、及び個人情報の取り扱いを適正に行ってきた。

- ・ 個人情報等の取り扱いについて慎重に対応するよう取り組んできた。

(4) 困難事例ケース検討、及び新規ケースの情報の共有することで、事業所内で依頼ケースのケアに取り組んできた。

- ・ 担当者が詳細な情報を報告し、情報を共有出来るよう取り組んできた。

『評価と課題』

研修会に参加し、情報の収集を行ってきた。

困難事例ケースについては、地域包括支援センターやサービス提供事業所とも連携を図り、同行訪問等を行いながら対応を行ってきた。困難事例ケースの中には、介護問題だけでなく、家庭環境全体が困難なケースとなっている。

また、介護保険法に基づく県の実地指導に関しては、平成13年以降の実地指導ということであったが、若干の記録不足や手続きの不備、ケアプラン作成に関しての解釈の相違があったものの、大きな指摘事項は無かった。今後は今回の指導を基に改めて法令遵守に努めていきたい。

5. 在宅介護への支援について

(1) 介護保険制度及びサービス内容の周知を行ってきた。

- ・ サービス利用については、ご利用者のニーズに合わせ、それぞれの避難先（自治体）で希望するサービスを提供できるよう取り組んできた。

(2) 介護方法及び社会資源の利用についての周知を行ってきた。

- ・ 介護に関わるアドバイス、認知症利用者等への対応の仕方など行ってきました。避難先での利用可能な社会資源について、その都度説明を行ってきた。

『評価と課題』

避難先の行政機関と飯館村の連絡調整も必用となってくることから、関係機関との連携が益々必要となっていくと考えられ、利用者やその家族の不安が少しでも解消できるような、相談援助活動を継続していく必要がある。

6. 各関係機関との連携の強化

- (1) 地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を密にし、ニーズに沿ったケアマネジメントが行えるよう取り組んできた。
 - ・ 他市町関係機関との連携を行いながら、ケアマネジメントに反映出来る様に取り組んできた。
- (2) 困難事例の検討と改善について
 - ・ 困難事例については、本人や家族はもちろんの事、地域包括支援センターや各市町のサービス提供事業者とも連携を図り、改善に向けて取り組んできた。
- (3) 地域ケア会議への参加
 - ・ 毎月開催される地域ケア会議に出席し、各種機関が抱える困難な課題や解決方法などについて意見の交換を行い、情報の共有を行ってきた。

『評価と課題』

- ・ 避難先の各種関係機関とも連携して支援できたことについては、評価できるものと感じている。今後の帰村する・避難を継続する・新たな地域での生活を選択する等それぞれのご利用者のご家族等と生活環境等の変化に対し、どのように対応できるか各関係機関との連携がこれまで以上に重要となってくるものと思われる。

～～平成28年度、避難中ご協力頂いている（協力頂いた）各種事業所（敬称省略・順不同）～～

＜福祉用具関連事業所＞

エヌジェイアイケアヘルス福島店、ニチケアセンター南福島、(株)ファミリーケア、(株)モリヨシ技研（福島）、(株)同仁社（伊達）、(株)昭和総合サービス（郡山）、(株)アルプスビジネスクリエーション（相馬）、(株)ハッピーケア、(株)すざ家具店（南相馬）、(株)福島ひかりのくに（川俣）

＜訪問看護事業所＞

訪問看護ステーション松陵、訪問看護ステーションしみず、訪問看護やまなみステーション、訪問看護ステーションすかわ、訪問看護さくらみずステーション、訪問看護さくらみずステーションサテライトほほえみ、済生会福島訪問看護ステーション、訪問看護ステーションしみずサテライトせのうえ（福島）、二本松病院附属訪問リハビリステーション（二本松）、あぶくま訪問看護ステーション（伊達）、済生会川俣訪問看護ステーション（川俣）、訪問看護ステーションゆうゆう、ライプリー南相馬訪問看護ステーション（南相馬）、リハビリ訪問看護ステーションつばさ（相馬）

＜訪問介護事業所＞

ハートフルステーション、大和ヘルパーステーション、ヘルパーステーションはなしのぶ、ロング・ライフ訪問介護事業所、アグリホームヘルパーステーション、民間救急警備(株)、定期巡回・随時型訪問介護看護湯の里大生苑、(有)きさらぎ（福島）、福寿園ヘルパーステーション（南相馬）、ヘルパーステーションだて、ヘルパーステーションほぼら、あぶくまヘルパーステーション（伊達）、馬陵タクシー介護事業部、ニチケアセンター宇多の郷、訪問介護四季（相馬）、済生会光風園訪問介護事業所（川俣）、にほんまつデイサービスセンター（二本松）

＜訪問入浴事業所＞

(有)キュービット介護サービス、民間救急警備(株)（福島）

＜通所リハビリ事業所＞

通所リハビリステーションろくまんぼう、通所リハビリ桃花林（伊達）、せいふうケアリハビリ・ホーム方木田、せいふうケアリハビリ・ホーム飯坂、通所リハビリテーションエルダーランド、とやのクリニック通所リハビリテーション、レッツ倶楽部瀬上（福島）、通所リハビリテーションめがみ（川俣）、通所リハビリ社の都（相馬）

＜通所介護事業所＞

北信デイサービスセンターすこやか、デイサービスあづま、ハートフェローユーズ、デイサービスセンター輝きの郷、認知症対応型通所介護あつぎの「庭」、Qアップスタジオ森合、まちなか宝生園、ほうらいデイサービスセンター、老人デイサービスセンターはなみずき（福島）、ニチケアセンター宇多の郷、相馬福祉会デイサービスセンター、相馬市デイサービスセンター（相馬）、南東北川俣デイサービスセンター（川俣）、伊達デイサービスセンター、ファミリー指定通所介護事業所（伊達）、福寿園デイサービスセンター、デイサービスステーションスマイル、けやきデイサービスセンターライプリーデイサービス（南相馬）、にほんまつデイサービスセンター（二本松）

＜短期入所事業所（特別養護老人ホーム）＞

なごみの郷、ショートステイ輝楽里、聖・輝きの郷、愛の里、まちなか宝生園、生愛ガーデン（福島）、孝の郷、ハッピー愛ランドほぼら、ファミリー（伊達）、南東北川俣シルクロード館、はなづか（川俣）、ショートステイ憩いの森（宮城・丸森）

＜短期入所事業所（老人保健施設）＞

エルダーランド、ケアフォーラムあづま（福島市）、プライムケア桃花林（伊達）、ベテランズサークル（相馬）、桑折聖・オリーブの郷（桑折）、めがみ（川俣）

＜居宅療養管理指導（往診含む）＞

とやのクリニック、すずきクリニック、(株)あさがお薬局（福島）、桑名医院（伊達）、大石医院（相馬）、南相馬市立総合病院（南相馬市）